

～～第8543回～～

しらびそ高原

～H30. 10. 13～

静岡県と境を接するのに近くて遠い信州遠山郷への旅だ。今年の秋は晴天が少ない。今日もハッキリしない天気だ。三遠南信道の鳳来峡 IC を降り、国道 151 号を北上、418 号を経て 152 号へ合流する。途中、道の駅「信州新野千石平」で早々と果物・野菜等を大量に購入する。矢筈トンネル手前からしらびそ高原へ上る道が通行止めのため、下栗の里から南アルプスエコーラインに入る。下栗の里でトイレ休憩し、マイクロバスは御池山への狭く急な道を上る。標高 1900m ほどの御池山隕石クレーターには広い駐車場があり、ここから丘の上展望台へ向かう。案内板には「地形の全容が最もよく見える場所」とある。2～3 万年前、直径約 45m の小惑星が衝突してできたクレーターで、日本で唯一確認されている場所だそうだ。クレーターは木々に覆われた山と谷で、そういわれてもハッキリ分らないが貴重な遺跡だ。さらに、しらびそ高原へと上る。瀟洒に佇む「ハイランドしらびそ」は通行止め後、9/8 から休業している。コーヒーを飲むつもりだったのに残念だ。天気がよければ聖岳から光岳、池口岳などの南アルプス深南部の山々が眼前に広がる大展望だが、山頂付近には雲が垂れ込めている。加加森山や池口岳を見ながら昼食をとって、下栗の里へ引き返す。駐車場から天空の里ビューポイントへ歩く。林の急斜面を切り開いて地元が作った遊歩道は観光客で賑やかだ。展望台からは下の方に下栗の里が一望できる。駐車場の売店にはこの地域でしか買えない下栗二度芋（小型の在来種バレイショ）を売っている。山を下って、かぐらの湯に寄り藤枝へ帰る。

参加者：19 名（静岡北 2、静岡西 1、藤枝 16）

天候：曇

地図：大沢岳・上町

コースタイム：藤枝 600＝下栗の里 1012＝御池山遊歩道 P1045…丘の上展望台 1100…遊歩道 P1120＝ハイランドしらびそ 1130-1200＝下栗の里 P1235…展望台 1300…下栗の里 P1340＝かぐらの湯 1405-1525＝藤枝 1940

記録：藤枝支部 ゆ記



展望台から下栗の里を俯瞰

正面に見える御池山がクレーターの外縁



### 日本初! 「御池山」隕石クレーター総合案内板



御池山隕石クレーターは、直径約900m、2万~3万年前に直径約45mの小惑星が衝突してできたものと推測されています。もともと地形が急な斜面にクレーターができたために、浸食して崩れた部分が多く、残っている部分は約40%ですが、御池山山頂の尾根沿いに半円形の地形が残っている、日本初の自然科学遺産です。

隕石クレーターは、宇宙から流れ星となって落下する小惑星、すい星などが燃えつきずに、地上に衝突した際にできた隕石孔です。この御池山隕石クレーターができた約2万~3万年前の地球は、氷河期の終わり頃、日本列島も中国大陸とつながっていて、ナウマンゾウが生息していた時代と見られます。

御池山遊歩道沿い  
クレーターの縁を歩きながら御池山山頂までのハイキングが楽しめます。  
片道1.5km、往復約1時間半

エコライン沿い  
クレーターによってできた特徴ある地形を見ることができます。

平成16年 飯田市

クレーター航空写真(見所ご案内)



【ポイント案内】  
①遊歩道入口  
②クレーター北斜面地  
③浸食を受けた岩石  
④クレーター内部の噴煙跡  
⑤噴煙に立つ地層  
⑥噴煙跡の周辺に広がる尾根  
⑦クレーター縁の断崖  
⑧クレーター縁の断崖  
⑨外縁側の地形

御池山 1724m  
クレーターの縁 1500m  
A点の上 1600m  
B点の上 1600m  
エコライン 1500m  
遊歩道入口